

唐竹小学校保護者との意見交換会での意見

資料1

平成28年12月3日(土)に唐竹小学校保護者との意見交換会で寄せられた意見は下記のとおりです。

内	容
エアコンを設置する考えはありますか。	<p>回答: 設置には多額の費用がかかるため、現在の市の方針としては、不登校などの児童生徒を減らすための養護教諭の充実などに予算を優先的に振り分けたいと考えています。また、図書室には、どの学校にもエアコンを設置する予定です。なお、エアコンを設置するためには、1校につき7~8千万円必要となります。また、更新等も必要となり、非常に費用がかかります。統合すると、学校の維持管理コストが下がりますので、その分を利用し、小規模校と中規模校の良いところのある学校にできるような方法を検討します。</p>
下がった維持管理コストでエアコンを設置できませんか。	<p>回答: 統合された場合の削減できる維持管理コストは、2千万円ぐらいのため、それ以上の投資は難しいと考えます。</p>
春日井市での小学校統合で、児童が一番喜んでいることは、エアコンが設置されたことだ聞いています。20年後に校舎が取り壊されるのであれば、改修より、新しい設備を設置するほうが良いのではないのでしょうか。	<p>回答: 皆さんがエアコンの設置を希望するとのことであれば、検討できます。</p>
2校を統合するのであれば、他の学校に自慢できるような学校を作ってほしいと望んでいます。イメージ(案)以外の事業はないですか。	<p>回答: 資料は案ですので、皆さんがよいと思われる具体例を教えてください。</p>
他市町村での、統合した直後のアンケート等はないでしょうか。統合直後の問題点等を知りたいです。	<p>回答: 春日井市では統合直後に先生等のご意見を聞いておりますが、全児童の意見はございません。できる範囲で、もう少し詳しく調べ、皆さんにお伝えしたいと思います。</p>
インターネットで調べると、子どもの意見は統合してよかったというものが多いが、先生はいろいろ問題もあるという意見があります。問題があるのは保護者で、子どもを過剰に心配したり、元の学校ごとに固まったりするそうです。統合方法によって変わると思いますが、統合の段階が悪い等の意見があり、参考にしてほしいと思います。	<p>回答: 県外では統合の前例が多いが、学校の詳細な状況が分からないため、県内の事例を参考にしました。近く、名古屋市で小学校の統合がされるので、そのあたりを分析し、皆さんにも報告をしたいと考えています。</p>
子どもたちの精神的な部分が心配です。きれいな学校より、楽しく行ける学校が必要だと考えていますが、現在、楽しく学校に通っているのに統合により乱されることとなります。どちらの学校に通うことになっても、その学校に通っていなかった子は、お客様のような感じになってしまいます。新しい校舎でなければ、どんな案であっても、魅力的に感じられません。	<p>回答: 今後のアンケートでそのようなことをご記入いただきたいです。統合がどのようになるかはゼロベースです。案はイメージ案です。20年後に校舎を取り壊したり、統廃合を考えるのはまた別のお話になります。子どもたちの精神的な負担の部分は、不安が先行するかと思いますが、統合後の小学校を実際に見て、分析し、対応方法も考えていきたいと思っています。</p>
統合が決まった場合、何年かかけて、両校の交流を行ってからにするとよいと思います。	<p>回答: 市でも、学校区の再編等も含め、両校の親交を深めていく必要もあると考えます。他市町の事例等を見ても、統合が決まってから最低でも2年以上はかかると考えています。</p>

統合が決まった場合、通学路の関係で学校を選ぶことができるかもとのことですが、統合が決まる前に選ぶことはできますか。

回答:統合した場合、学校が遠くなる一部地域のみ、学校区を考える必要があると考えます。

通学路について、学区の再編を含めて、検討委員会で検討されますか。学区の見直しはないとこれまで聞いていたが。

回答:通学路の問題は統合の際には大きな問題となりますので、検討委員会で検討され、市でも考えていく必要があります。全市的な学区の見直しはありませんが、統合することによる通学路の問題として検討する必要があると考えます。

全市的な学区の再編を行えば、大規模校小規模校の問題が解消されるのではないのでしょうか。

回答:学区の再編は規模が大きくなってしまい時間もかかりますし、今回は双峰小と唐竹小の教育環境の向上を論点としています。

統合は、校舎が新しくなることが多いのですが、今回は引越し型であり、他の事例に当てはまりません。20年後に建て替えを行うのに、今、うまくいっている学校を、今、統合しなくてもよいのではないのでしょうか。

回答:統合してほしくないというご意見も、統合してほしいというご意見もあります。今の唐竹小と統合後のイメージとを比較していただき、結論を出していただきたいと思います。統合してほしい、クラス替えのできる学校がよいとの意見もいただいています。これから小学校に入学する子どもたちに対して、勝手に統合しないとの結論を押し付けることはできません。検討した上で、結論を出してほしいと思います。

統合後の空き校舎、土地を売却して、校舎を新築する費用を作ることはできませんか。

回答:空き校舎は避難所として使用していきますし、老朽化した公共施設を移すなど、利用していくこととなります。

統合という結論は、どのようになったら出るのですか。多数決ですか。

回答:いろいろな方の意見をお伺いし、アンケートをとり、検討委員会で検討をし、答申を出します。その後市長が決定します。多数決で決めることのできる問題ではないと考えます。

統合してほしい人の意見を教えてください。

回答:クラス替えのできる学校がよいとのことでした。

統合しなかった場合は現状維持ですか。今後も、また統合の話が出てくることがありますか。

回答:全市的で行う事業以外は、現状維持となります。統合の話は、学校の適正規模ということでは、今後はありませんが、新たな問題が出れば、検討されることとなります。

双峰小学校保護者との意見交換会での意見

平成28年12月10日(土)に双峰小学校保護者との意見交換会で寄せられた意見は下記のとおりです。

内	容
	<p>統合後のイメージが文章ではわかりづらいため、まずは両校の交流を持つことが、唐竹小の保護者の方にも、現実味のない双峰小の保護者の方にもよいと思われます。</p> <p>回答:統合が決定したら交流を進めていく予定はしております。決定する前にも、すぐに実行することは難しいですが、運動会や合唱祭などを計画していきたいと思えます。</p>
	<p>双峰小と唐竹小の保護者が一緒に集まり、お互いにどのように考えているのか、意見交換を行いたいです。</p> <p>回答:時期をみて、検討したいと思えます。</p>
	<p>補助教員を始め、たくさんの大人が学校に出入りすることは、子どもは不安になりませんか。親も、どの先生が自分の子どもに関わっているのかが把握できません。</p> <p>回答:たくさんの大人が学校に入ることは、子どもも最初は慣れていませんが、多くの大人が目や手があれば、わかりやすい授業をすることができますし、子どもの悩みにも関わりやすくなります。昨年は他校で講師の不祥事がありましたが、市の職員である教員補助は、毎年校長が評価をしますので、しっかりと管理することができます。</p>
	<p>統合に関して、子どものためになるようにしたいとのことですが、大人主導で進んでいく感じであり、子どもの意見が反映されているように思えません。子どもたちの意見はどのように取り入れられますか。</p> <p>回答:子どもたちに、統合という大きな問題の意見を聞くということは、プレッシャーが強すぎると思えます。統合が決まったら、学校の校歌やコンセプトなどいろいろな意見をいただくことを考えています。</p>
	<p>40人学級は人数を減らすことはできませんか。また、チームティーチングと少人数学級はどちらがよりよいのでしょうか。</p> <p>回答:40人学級は全国統一なので、変えることはできません。チームティーチングより空き教室を有効利用した少人数学級の方が教育効果は高いと思えます。統合がされるならば、モデル学校として、少人数学級を行っていきたくて考えています。</p>
	<p>他の学校の保護者から、増員を求める意見があれば、その学校も教員補助を増やすことになりますか。また、統合した場合、いつまでこの補助教員数が保てるのでしょうか。</p> <p>回答:統合後の学校をモデル校とし、教育効果が出ている場合、財政面も勘案しながら、他の学校の増員も考えていきたいと思えます。ただし、結果が出るのには時間がかかると考えています。また、20年後の校舎等立替時期までは補助教員増員は維持をしていく予定です。</p>
	<p>学校は地域の拠点としての役割を持っていますが、統合された後の学校はどうなりますか。また、建物、運動場はどうなりますか。</p> <p>回答:建物をなくすことはありません。今後も避難場所として使用する予定です。また、一部改修等はあるかもしれませんが、他の公共施設などを集約したり、地域の方の意見を聞き活用していきたいと考えています。</p>
	<p>統合後の学校の具体的な構想はありますか。</p> <p>回答:いろいろな案がありますが、統合が決定してから、地域の皆さまとの話し合いになるかと思えます。</p>

モデル校としたり、補助教員が増えたりなどの計画があり、期待が持てます。意見交換会などで、意見は出尽くしているようなので、今後のプランニングを教えてください

回答:年度内にアンケートを行い、アンケートの結果をふまえ、検討委員会で検討されます。来年の夏ぐらいには答申が出る予定となっており、その結果の説明会、また統合が決定した場合の説明会などを行います。

統合の目的は、お金の話でしょうか、子どもの教育のことでしょうか。
統合を決定するのは、議会になるのか、市長になるのか、または市民の投票であったり、当事者の投票で決まったりするのでしょうか。

回答:統合検討の目的は、子どもの教育環境をよりよくするためです。財政面の話は20年後となります。統合の決定は、検討委員会が市長に答申をし、市長は受けるのか受けないのかを判断します。受けるのであれば、教育委員会で最終判断をし、統合という結論になれば、学校の廃止条例を議会に提出します。条例が可決すれば決定となります。

検討委員会の委員は、PTA会長などは、来年度変わりますか。委員は継続して検討したほうがよいと思いますが。

回答:今は委員の交代を予定しておりますが、新旧PTA会長をお願いすることも考えております。

未就学児保護者との意見交換会での意見

平成28年12月10日(土)に未就学児保護者との意見交換会で寄せられた意見は下記のとおりです。

内	容
学区の見直しは考えていますか。	回答:今後統合が決定した場合には、統合のための計画を作成し、検討していく予定です。
資料を見ると双峰小学校の校舎を利用するように読み取れますが、双峰小学校の校舎を使用するんですか。	回答:現段階ではどちらの校舎を使用するかは決まっておりません。ただ、双峰小学校の校舎のほうが部屋数が多いので、授業方法では自由度が大きいですが、唐竹小学校でも可能であり、どちらの小学校の使用も考え得るので、今後アンケートや統合検討委員会の中で決めていきます。
アンケートはどなたを対象に実施するのですか。	回答:今後統合検討委員会で決めていきますが、基本は現在通学している児童の保護者、今後双峰または唐竹小学校に通学する予定の未就学児の保護者です。その他には児童や地域の方も考えられます。
もし統合された場合、使われなくなった学校はどうなるのでしょうか。	回答:建物自体は市の施設として残します。
残した学校の維持費が掛かってくるので、統合してもしなくても建物への維持費は変わらないのではないのでしょうか。	回答:市の公共施設の中で老朽化により耐用年数が越えているものがあるので、その一部を残った学校の建物へ移し、それでも余ったスペースは地域の方とどの様に使っていくか考えなければなりません。体育館は災害時に避難所として運営します。
20年後から25年後には、市内の全小中学校で建て直しが必要とのことですが、そこを踏まえてどちらにするかを考えていますか。	回答:双峰、唐竹いずれの小学校も20年後には25年後には使えなくなります。その時にどこに、どの学校を集約するか、小学校中学校保育園児童館を集約するか、ということも考え、来年度から時間を掛け、地域と決めていきたいと思えます。統合のメリット・デメリットがあり、保護者様の意見も様々でしょうが、皆様で考えていただく必要があります。我々の見解や、校長経験者もいるので現場の声を聞いていただけら幸いです。今現在の案では、小規模校の特性も生かした中規模校にする案になっています。
豊明市は財政的に強いとの説明がありましたが、その理由を説明してください。	回答:財政力指数があり、豊明市は愛知県の真ん中くらいに位置し、愛知県は全国の都道府県でトップですので、全国での自治体の中では上位にあります。
小学校に通っている児童の保護者から統合すると聞いていましたが、今日の説明でまだ決まっていなかつた感じがしました。しかし、不確定のままでは保護者として困ってしまいます。	回答:今年度初めて統合検討委員会を設置し、今度来年度の夏までにアンケート等を取り、統合するかしないかの答えを統合検討委員会から出し、市長が最終的に判断します。現段階では、意見をいただいている状況です。
統合が決定してから実際どのくらいで統合する予定ですか。	回答:児童の心理的負担や学校準備を考慮し、最短で2年以上掛かります。

統合した場合、モデル校として何か良い施策は考えていますか。

回答:繰り返しになってしまいますが、ティームティーチングや空教室を利用した少人数学級により、児童一人一人の習熟度を高めることを考えています。

統合しない場合、他の学校でもティームティーチングをやっという考えでしょうか。

回答:市内9校全てですることは予算的にはできません。統合した場合、一校分の学校としての維持管理費が浮きますので、モデル校として教員補助に当てることが出来ます。ただし、この事例が成功した場合でも、他の全学校ですることは難しいので、一部の学年に補助教員を許可することはあり得ます。

特別支援学級で児童の数が増えても、教員の数が増えなければ、負担が大きくなり、目が行き届きにくくなるのでないでしょうか。

回答:愛知県の基準で一人の先生に対する児童数が決められているので、常勤教師を増やすことを出来ませんが、必要があれば校長の判断で非常勤職員を配置することが出来ます。

現在の児童の保護者は賛成・反対どちらが多いでしょうか。

回答:全体の1割程度の保護者にしか直接説明できていないので、全体の意見でどちらが多いかはわからない状態です。

アンケートを実施する際、保護者が「賛成」でも、地域の方の「反対」意見が多い場合、統合はされないのでしょうか。

回答:教育環境の充実を目的に統合を検討していますので、保護者の方の意見を尊重します。

モデル校として、今後スクールカウンセラーの増員はずっと継続していただけるのでしょうか。

回答:今後20年後は継続していく予定です。20年後に学校の建て替えがあり、学校の編成を考えなければならぬので、その時に予算をどう割振るかはその時の状況によって変わります。また、学校長の判断でどういった非常勤職員を要望するか決めることができるので、このレベルは維持できると思います。

校舎や授業の様子を見学が出来たら、参加したいのですが。

回答:教育委員会から校長に話をし、アンケートを実施する前の1月上旬に学校を見学できるように体制を整えたいと思います。

見学できる日を複数設定していただきたいです。

回答:双峰小学校・唐竹小学校それぞれで複数日設定させていただきます。

豊明市立双峰小学校及び唐竹小学校
仮に統合した場合の小学校イメージ（案）

1 仮に統合した場合の小学校イメージの前提条件

この「豊明市立双峰小学校及び唐竹小学校 仮に統合した場合の小学校イメージ」は、今後小学校の統合の是非について議論やアンケートを行っていく上で、仮に統合した場合、小学校がどのようなものになるのかイメージを共有する必要があるため作成するものです。このイメージについては、次の前提条件がありますので、ご承知置きください。

- (1) このイメージは、統合の是非について議論するためのものであり、統合を前提にしたものではありません。
- (2) 統合は双峰小学校又は唐竹小学校のいずれかの学校を活用するものとしています。
- (3) 既存の小学校を活用しますが、新設の小学校として位置づけ、どちらかの小学校が吸収されることは想定していません。

2 小学校統合の基本コンセプト

仮に統合した場合の小学校のイメージは、次の基本コンセプトに基づき設計しています。基本コンセプトは、豊明市政の全体計画である第5次総合計画、教育大綱、学校教育の理念などに基づき作成しています。

【基本コンセプト】

- (1) 競い合い・認め合い・協力し合う児童を育てる ～生きる力を育む学校～
- (2) 現在の小学校の良いところを残す ～小規模校の良さを残した学校～
- (3) 新設校に位置づけ ～新しい学校名・校歌・校章～

3 クラス数の見込み

平成28年4月1日時点での児童数及び就学予定児童数を表にしたものです。なお、クラス数は、愛知県の基準に基づき、1・2年生は35人で1クラス、3～6年は40人で1クラスとなっています。各学年において、転出入によりクラス数の若干の増減は見込まれるものの、1学年において2～3クラスになります。

学校名		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	1年	2年	3年	4年	5年	6年	小計	特別支援学級	合計
双峰小	クラス数							2	2	2	1	1	2	10	2	12
	人数	60	51	38	47	46	42	41	46	43	39	34	44	247	4	251
唐竹小	クラス数							1	1	1	1	1	1	6	2	8
	人数	31	33	33	34	35	31	33	29	30	34	28	35	189	3	192

双峰 唐竹 統合小	クラス数	低学年	中高学年	低学年	中高学年	低学年	中高学年	低学年	中高学年	低学年	中高学年	低学年	中高学年	低学年	中高学年	低学年	中高学年	小計	特別支援学級	合計		
		3	3	3	3	3	2	3	3	3	3	3	2	3	2	3	2				2	2
人数	91	84	71	81	81	73	74	75	73	73	62	79	436	7	443							

※ 低学年（1～2年生）は1クラス35人、中高学年（3～6年生）は1クラス40人で計算

4 職員の体制

愛知県の教職員数は、児童数により配置基準が決まっているため、仮に小学校を統合した場合、平成28年の双峰小・唐竹小の児童数では、次のような職員数になります。

常勤県教員	双峰小	唐竹小	統合後
校長	1	1	1
教頭	1	1	1
教務主任	1	1	1
校務主任	1	1	1
養護教諭	1	1	1
学級対応	12	7	16
日本語教育適応学級加配	2	1	2
事務職員	1	1	1
合計	20	14	24

仮に統合した場合の小学校では、小規模校の良さの一つである児童に対するきめ細かい対応をできる限り残すため、市が採用する教員補助職員を増員し、それ以外の職員も現状維持します。

非常勤市職員	双峰小	唐竹小	統合後
教員補助	1	1	6
特別支援員	3	2	5
日本語教育	5	2	7
スクールカウンセラー	市内巡回	市内巡回	1 (※)
事務職員	0	0	1 (※)
合計	9	5	20

※ 統合後の一定期間について増員します。

5 教員補助の職務内容の見直し

教員補助職員の増員に併せて、教員補助職員の職務内容・勤務時間等を次のように見直し、常勤の県職員の減員分をフォローし、できる限り児童一人ひとりに対応できる職員体制を構築します。

	職務内容	勤務日 (1人あたり)	勤務時間 (1人あたり)
現在	授業における教員補助	月～金 年約200日	8時30分～16時 のうち4時間
見直し後	授業における教員補助、学級運営の補助、状況に応じて保護者への対応、ノートチェック、テストの採点、プリントの準備など	月～金 年約200日	8時30分～16時 のうち4～7時間

6 授業等の充実

(1) ティームティーチング・少人数学習

ティームティーチングは、担任の先生と教員補助の先生が二人一組となって授業を行うことです。これにより、児童一人ひとりに目が行き届き、児童個々の状況に寄り添った授業を行うことができます。また、2クラスに分けて少人数で学習する少人数学習も活用します。教員補助職員の勤務時間数分をこのようなティームティーチングや少人数学習に充てます。なお、どの授業にティームティーチングや少人数学習を用いるかは、統合後の学校の状況に応じて、学校において決定をします。



	双峰小	唐竹小	統合後
教員補助人数	教員補助 1 名	教員補助 1 名	教員補助 6 名
1 週間のティームティーチングのコマ数	4 年 1 組 (算数 5 コマ) 5 年 1 組 (算数 5 コマ) 6 年 1 組 (算数 5 コマ) 6 年 2 組 (算数 5 コマ) 合計 20 コマ	3 年 1 組 (国・算・総・体 10 コマ) 5 年 1 組 (算数・家庭 7 コマ) 6 年 1 組 (家庭 2 コマ) 合計 19 コマ	1 年～6 年生まで 合計 120～180 コマ 教科は、統合後の状況に合わせて、学校が決定

(2) IT 機器等の活用

現在各小学校にある大型テレビやタブレットなどの IT 機器等について、統合することにより、次の表のように、台数は増やさずにより柔軟で多様な授業に活用できるようになります。



	大型テレビ	タブレット	電子黒板
現 在	各クラスに1台	各小学校45台	各小学校1台 ※ 重量があるため配置する階が限定される
見直し後	各クラスに1台 理科室 音楽室	90台 ※ 複数クラスで同時 使用が可能	1・2階（又は2・3階）に配置 ※ 多様な授業に使用可能

（3）定住外国人向け初期日本語教室

現在、定住外国人向けの初期日本語教室をNPO法人プラス・エデュケートに委託し、豊明団地の1室を使って実施しています。しかし、部屋の大きさの都合上、多くの児童を受け入れることができません。仮に統合した場合の小学校では、教室の一つを初期日本語教室として設置し、NPO法人による授業を実施します。これにより、多くの児童が初期の日本語教育を受けることができます。

初期日本語指導が必要な外国籍児童数	初期日本語教室受入数	仮に統合した場合の初期日本語教室
双峰小：30人 唐竹小：13人 (平成28年4月現在)	10人程度	小学校内に教室を設置し、受け入れ人数を拡大する。

（4）専門の指導員による部活動指導

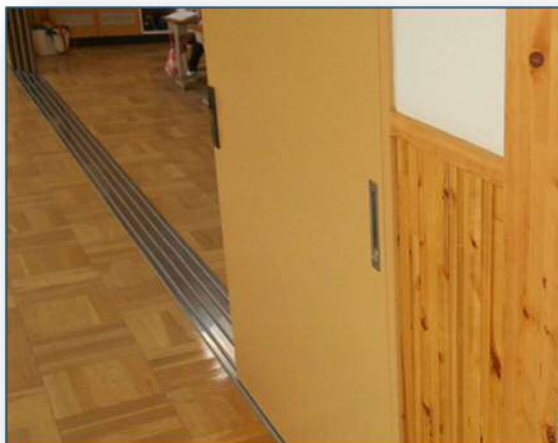
仮に統合した場合の小学校では、児童数が増えるため、多様な部活動が実施可能になる一方、児童への細かい目配り等の負担が増えます。そのため、専門の指導員を派遣し、部活動の指導の補助を行い、教員の負担の軽減を図るとともに、より専門的な指導を行う体制を整えます。



7 学校設備等の整備

仮に統合した場合の小学校は、既存の施設を活用しますが、新設校と位置づけできる限り学校の設備等を新しいものに整備します。統合により圧縮される学校運営費等を活用し、次の設備を改修します。また、外壁や内壁の改修にあたっては、両校の児童や先生が話し合いながら改修内容を決めていきます。

それにより、新しい学校が自分達のものであることを感じるができるものと考えています。



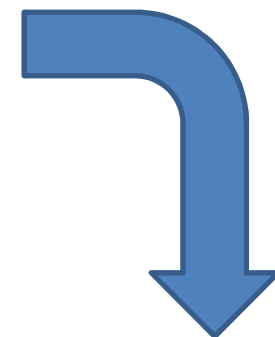
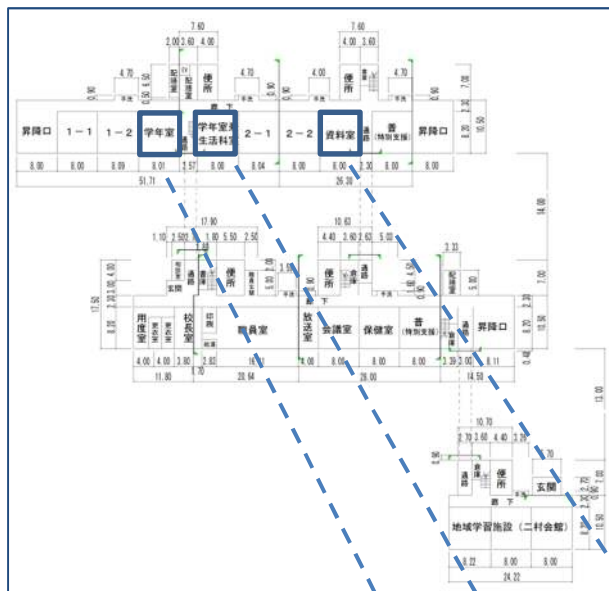
改修項目	改修内容	備考
外壁塗装	外壁の塗りなおし	仕様を両校の児童や先生により協議
床・内壁	床・内壁の張替え	仕様を両校の児童や先生により協議
トイレの改修	トイレ及び床・内壁の改修	—
手洗い場の改修	手洗い場の改修	—
机・いす	机といすを新品に交換	—
通学路	防犯灯・カラーペイント	両校の児童や先生、保護者、地域住民と協議
学校名・校章・校歌	新しい学校名・校章・校歌	両校の児童や先生、保護者、地域住民と協議



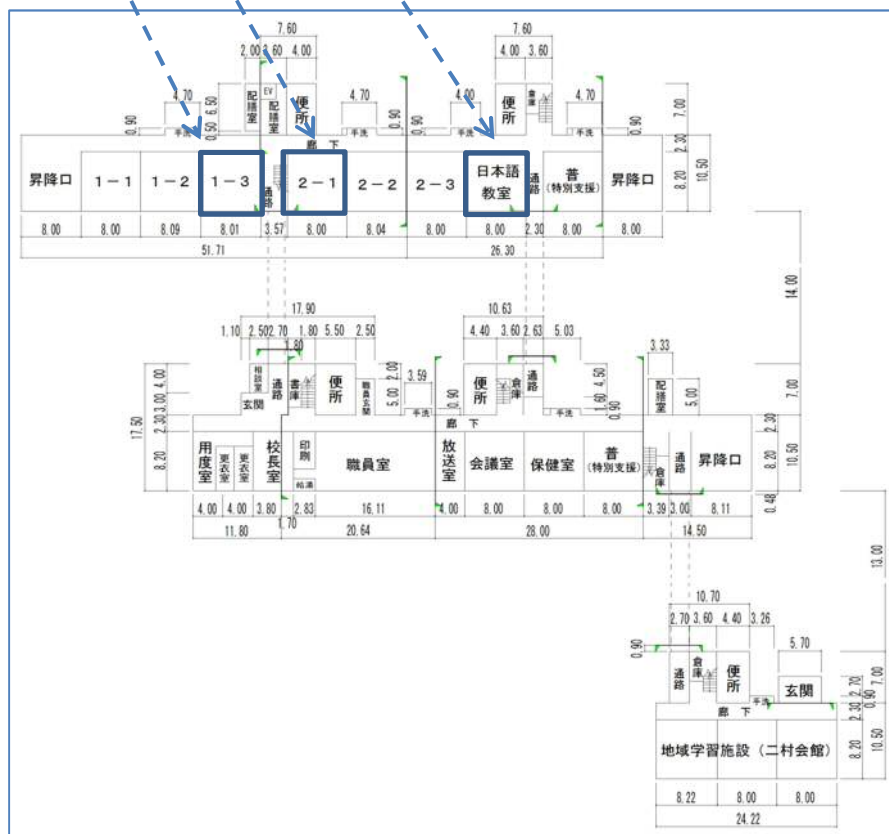
8 小学校統合した場合の教室配置案

仮に統合した場合の双峰小学校・唐竹小学校それぞれの教室配置案です。双峰小学校には、地域学習施設の二村会館があり、教室数も多いため、学年室、児童クラブや日本語教室など唐竹小学校に比べ柔軟に配置することが可能です。

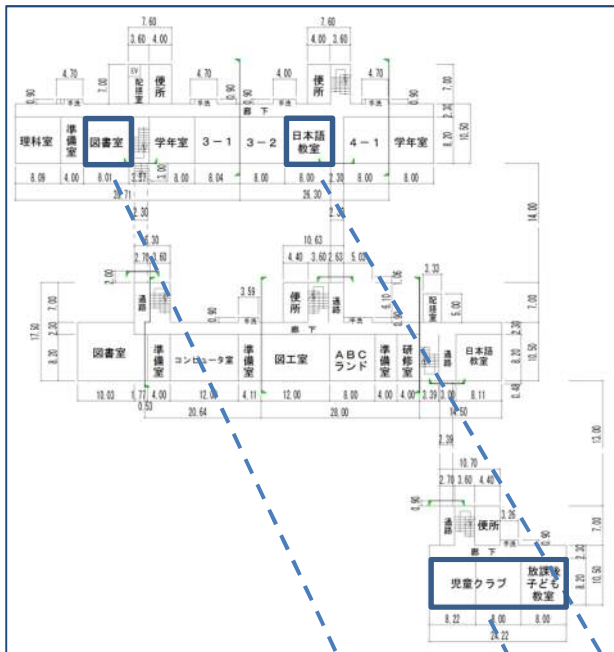
【双峰小学校 1階 現状】



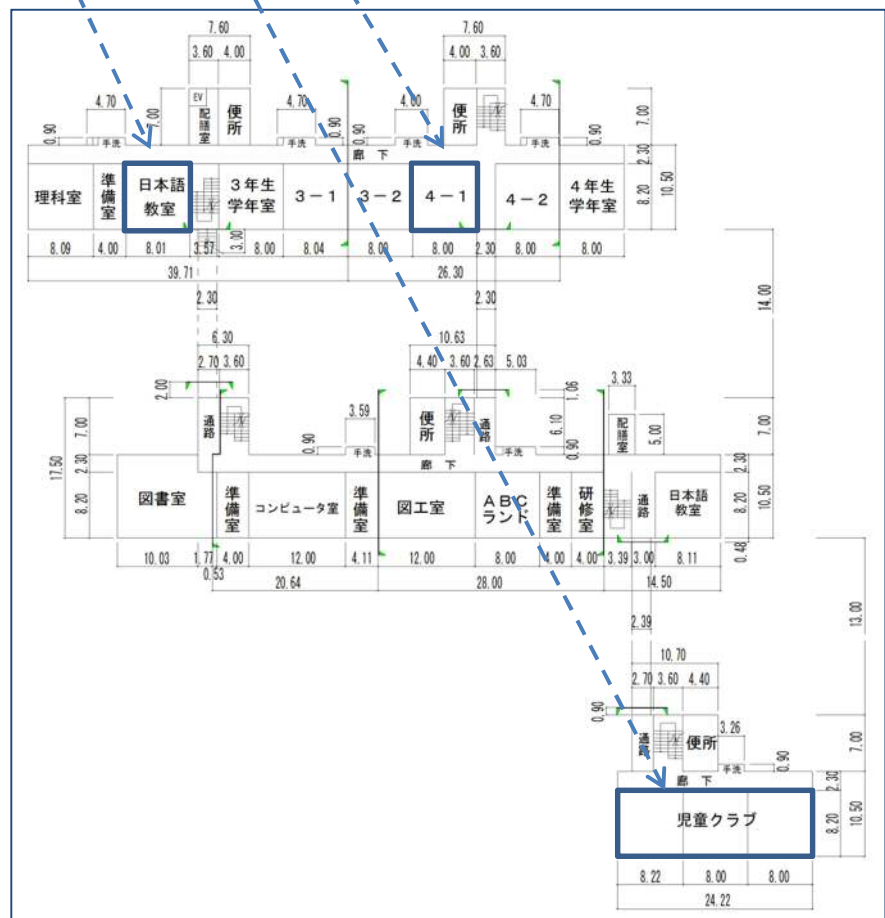
【仮に統合した場合】



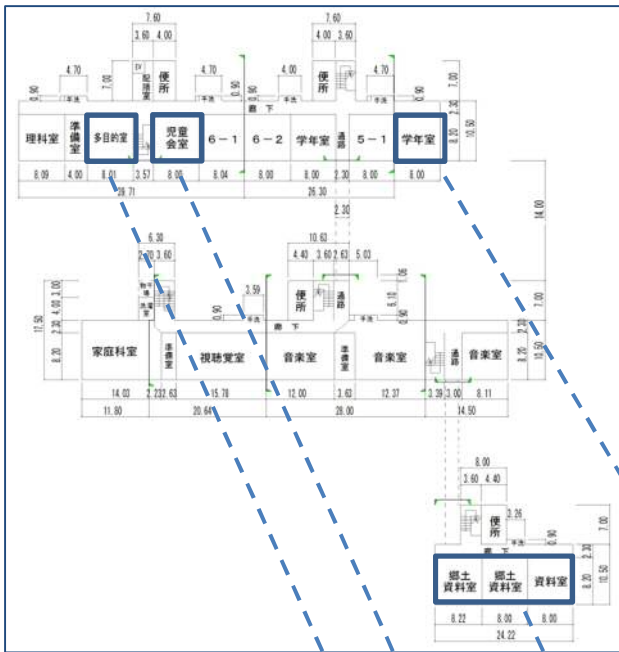
【双峰小学校 2階 現状】



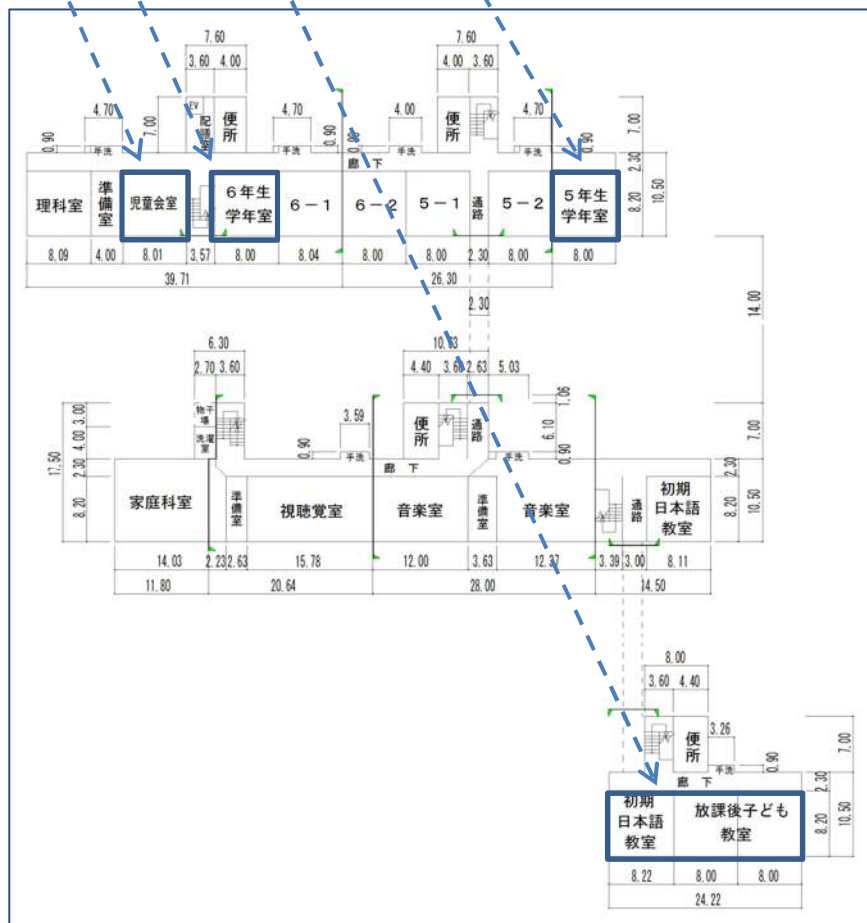
【仮に統合した場合】



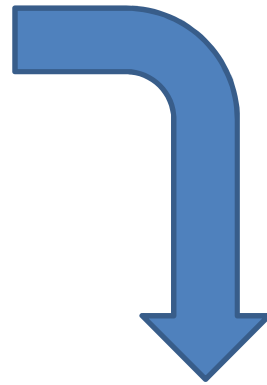
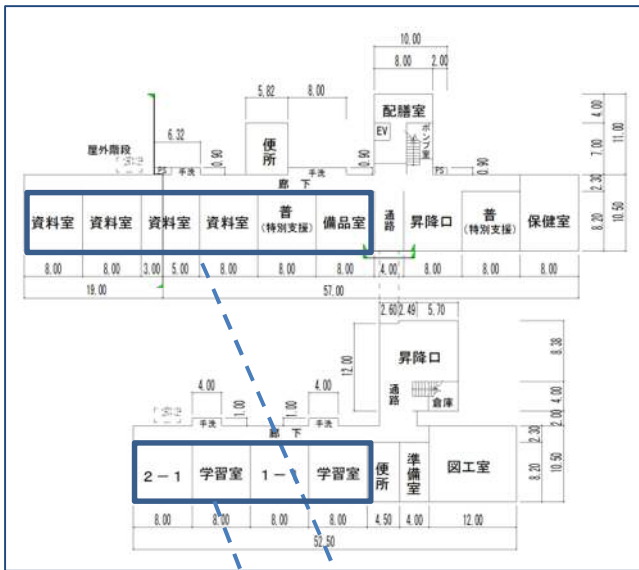
【双峰小学校 3階 現状】



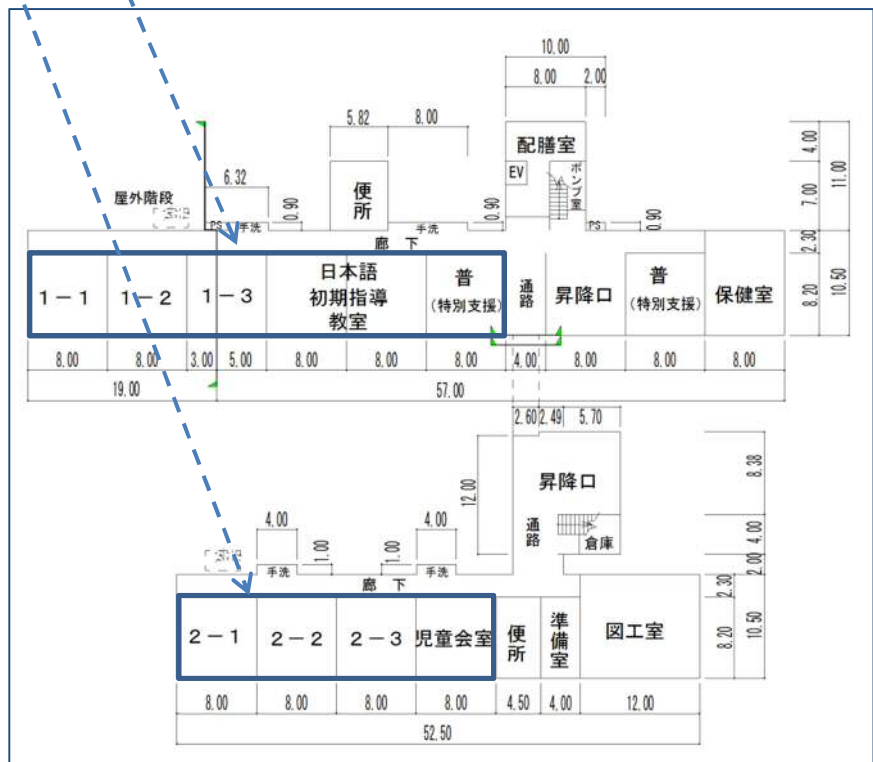
【仮に統合した場合】



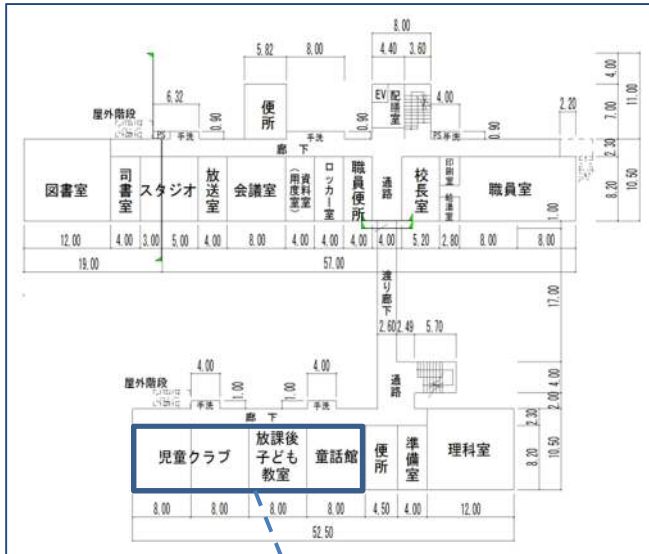
【唐竹小学校 1階 現状】



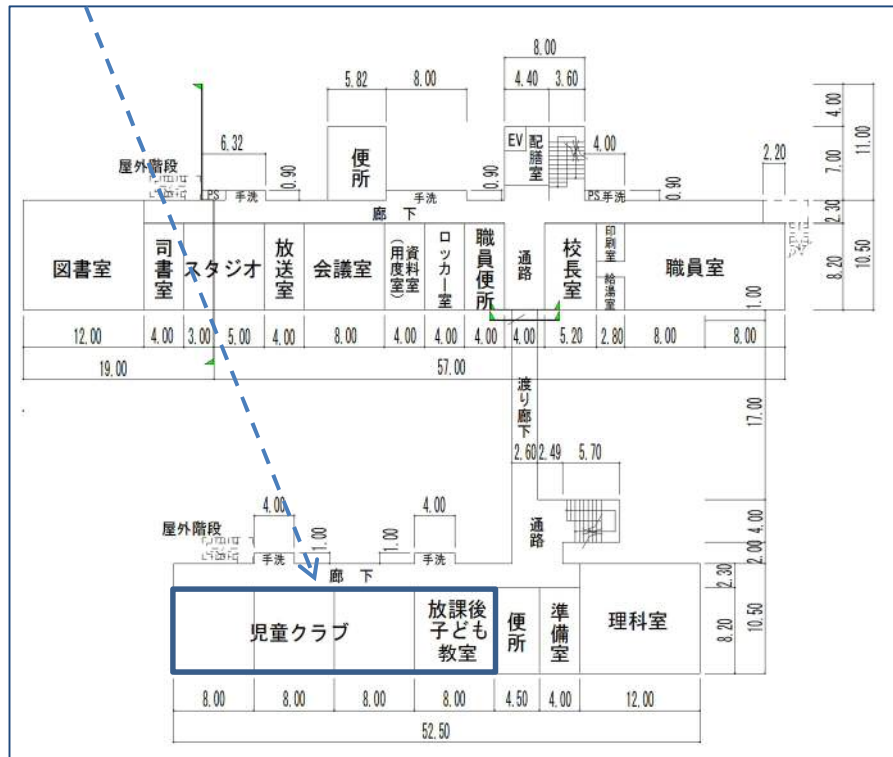
【仮に統合した場合】



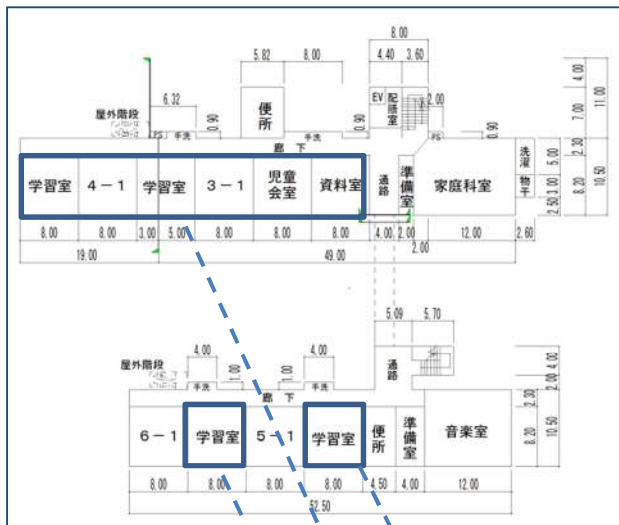
【唐竹小学校 2階 現状】



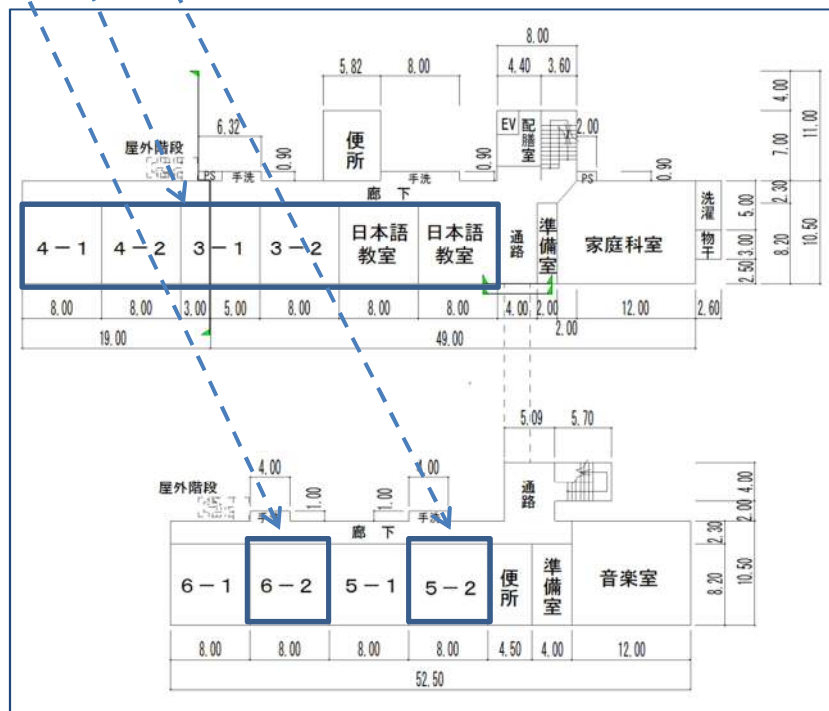
【仮に統合した場合】



【唐竹小学校 3階 現状】



【仮に統合した場合】



※ 唐竹小学校の4階は変更なし

9 小学校統合のメリット・デメリット

	メリット	デメリット
人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの友達や教師にめぐり合い、共に学んだり生活したりする中で、社会性や協調性が育まれる。 ・子どもたちが相互に刺激し合い、いろいろな考え方や見方に触れ合うことができる。 ・クラス替えができることによって、新たな価値観や人間関係ができ、学習意欲や競争心が出る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが多くなることにより、一人ひとりが活躍する機会が少なくなる。 ・学年を超えた交流が少なくなりやすい。 ・統合の当初は、新しい人間関係を構築するために力を使わなければならない。 ・学校ごとでグループ化してしまう可能性がある。
教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・学級数が増えることにより、学年や学校全体に活気が生まれる。 ・状況に応じて、多様な規模の集団を組むことができ、グループ学習や少人数学習などを効果的に行うことができる。 ・運動会、学習発表会、部活動などにおいて、一定規模の集団による多様な活動ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動場や体育館などの一人あたりの面積が狭くなり、放課などにおける使用が制限される。 ・一人ひとりの子どもに目が行き届きにくくなる。 ・通学距離が伸びる子どもは、集合時間が前より早くなり、長い距離を通学しなければならない。 ・統合の当初は、新しい学校のルールに慣れなければならない。
学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・教員数が多いため、多様な教育活動に対応できる。 ・学年別や教科別の教職員同士で、学習指導や生徒指導等についての相談・研究・協力等が行いやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員同士の情報共有に時間がかかる。 ・クラスが増えることにより、授業における運動場、体育館、プールなどの利用機会が制限される場合が生じる。

参考 1 通学距離

唐竹小学校

通学団		通学距離(km)	
		現在	統合した場合 (双峰)
1	間米上1	1.4	1.9
2	間米上2	0.2	0.8
3	間米上3	0.4	0.8
4	3東A	0.5	0.7
5	3東B	0.5	0.7
6	3北	0.3	0.6
7	3中41A	0.3	0.8
8	3中41B	0.3	0.8
9	3中42・43	0.3	0.8
10	3中45	0.3	0.8
11	3中44	0.3	0.8
12	3南1	0.3	0.8
13	3南2	0.3	0.8
14	間米下	0.8	1.8
15	1東	0.4	1.4
16	1西1A	0.3	1.3
17	1西1B	0.5	1.5
18	1西1C	0.5	1.5
19	1西1D	0.3	1.3
20	1西2A	0.1	1.0
21	1西2B	0.1	1.0
22	1西2C	0.1	1.1
23	2東	0.5	1.2
24	2西1	0.4	1.0
25	2西2	0.3	1.1
26	2西3A	0.5	1.3
27	2西3B	0.4	1.3

双峰小学校

通学団		通学距離(km)	
		現在	統合した場合 (唐竹)
1	4丁目北	0.7	0.9
2	4丁目南	0.8	0.8
3	1～8棟	0.3	0.7
4	9～12棟	0.3	0.7
5	13・14棟	0.4	0.8
6	15・16棟	0.4	1.0
7	17～19棟	0.5	1.1
8	20～23棟	0.2	0.7
9	田楽ヶ窪	0.3	1.2
10	24・27棟	0.1	0.8
11	25・26・28・29棟	0.1	0.8
12	30・31棟	0.1	0.8
13	32～34棟、田楽ヶ窪	0.2	0.8
14	7丁目東	0.2	0.9
15	7丁目西、沓掛	0.4	1.2
16	7丁目西、田楽ヶ窪	0.5	1.3
17	7丁目北	0.1	1.1

参考 2 統合した学校の統合後の児童の状況

愛知県内で統合した小学校の統合後の状況について、各市の担当にヒアリングした結果を参考に掲載します。

春日井市

- ・統合後の児童及び保護者の意見を集約したものありませんが、統合後も仲良くのびのびと児童は学校生活を行っているため、統合後のアンケートは不要と考えています。
- ・統合後に朝の校門の施錠時間が変わったなど学校運営のシステム変更による意見はいただいているが、学校生活についての意見や相談はありません。

名古屋市

- ・統合1年後に児童と保護者にヒアリングを実施しています。
- ・児童の意見として「友達が増えた。」「部活動がやりやすくなった。」「クラス替えができるようになってよかった。」「授業で発言しやすくなった。」「図書が増えた。」「いろいろな行事が楽しい。」「学校が遠くなり、集合時間が早くなった。」といったものがありました。
- ・保護者の意見として、親子の幅広いつながりができたなどのプラス意見が多かったです。
- ・また、現在統合途中（まず3校を2校にし、建て替え後に1校）の小学校につきましては、現時点の児童の意見として、「友達が増えてよかった。」「部活動の人数が増えてよかった。」「運動会が今まで130人だったのが360人になってとても楽しかった。」「音楽祭が楽しかった。」「新しい校歌を歌えてよかった。」「学区が広がって遊びにいけるところが増えた」など喜びの声が多いです。

問い合わせ先

豊明市 とよあけ創生推進室

住 所：豊明市新田町子持松 1 番地 1

電 話：0562-92-8362（直通）

メー ル：sousei@city.toyoake.lg.jp

豊明市立双峰小学校及び唐竹小学校の 仮に統合した場合の小学校イメージに関するアンケート (案)

日頃より本市の教育行政について、多大なるご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

さて、現在、双峰小学校では一部の学年で1クラス、唐竹小学校は全学年で1クラスの状態となっています。このような状況を受け、将来を担う子どもたちに、現在の少人数できめ細かく指導できるメリットをいかしつつ、クラス替えができ、切磋琢磨できるような教育環境を整備する必要があるのではないかと考え、本年5月に小学校統合検討委員会を設置し、教育環境の充実のために検討を開始しました。

その検討委員会において、仮に統合した場合の小学校イメージを作り上げました。その概要を2ページから3ページに掲載させていただきます。

今後、検討委員会において小学校統合の是非について議論を行っていく予定ですが、小学校統合の課題抽出のために、現在両校に就学している児童の保護者および今後就学される予定のお子様**の保護者のみなさま**に仮に統合した場合の小学校イメージについてアンケートをお願いすることといたします。

このアンケートは無記名であり、ご記入いただいた内容については、個々の調査票を公表したり、調査の目的以外に使用したりすることは一切ございません。また、このアンケートは、**小学校を統合する・しないを決する目的で行うものではありません。**

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成29年 1月

豊明市長 小浮 正典

調査票の記入にあたって

- (1) アンケートは、4ページから始まります。2～3ページの仮に統合した場合の小学校イメージをご一読いただき、アンケートに記入してください。
- (2) 質問中の『あなた』とは、児童の保護者を指しますので、質問にはその方自らがお答えください。
- (3) ご記入いただいた調査票は、配付しました封筒にて、**月 日 ()**までに各学校に提出するか、または豊明市役所とよあけ創生推進室宛に郵送してください。
- (4) この調査についてご不明な点がございましたら下記へお問い合わせください。

豊明市 とよあけ創生推進室 電話 0562-92-8362

仮に統合した場合の小学校イメージ【概要】

(1) 1学年2～3クラスとなり、児童数も増え、全ての学年においてクラス替えが可能になります。

(平成28年4月現在)

学校名		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	1年	2年	3年	4年	5年	6年	小計	特別支援学級	合計
双峰小	クラス数							2	2	2	1	1	2	10	2	12
	人数	60	51	38	47	46	42	41	46	43	39	34	44	247	4	251
唐竹小	クラス数							1	1	1	1	1	1	6	2	8
	人数	31	33	33	34	35	31	33	29	30	34	28	35	189	3	192
統合小	クラス数	3 3	3 3	3 2	3 3	3 3	3 2	3 2	3 2	2	2	2	2	14	2	16
	人数	91	84	71	81	81	73	74	75	73	73	62	79	436	7	443

※ クラス数については、1～2年生では35人で1クラス、3～6年生では40人で1クラスとなります。これは、国と県の基準によるもので変更することはできません。

※ 転入・転出により児童数が増減しますので、場合によってはクラス数が増えたり、または減ったりすることがあります。

(2) 愛知県の正規の教員数は減りますが、その分豊明市の補助教員を増やし、さらに補助教員の勤務内容と勤務時間を拡大し、小規模校のメリットである児童へのきめ細かい指導を行う体制を維持します。

愛知県の正規の職員	職員	双峰小【現在】	唐竹小【現在】	統合小	
	校長	1	1		1
	教頭	1	1		1
	教務主任	1	1		1
	校務主任	1	1		1
	養護教諭	1	1		1
	学級対応	12	7		16
	日本語教育適応学級	2	1		2
	事務職員	1	1		1
	合計	20	14		24
豊明市の職員	補助教員	1	1	<u>6</u>	
	特別支援員	3	2	5	
	日本語教育	5	2	7	
	スクールカウンセラー	市内巡回	市内巡回	1(一定期間)	
	事務職員	0	0	1(一定期間)	
	合計	9	5	20	

補助教員の人数を増やすだけでなく、勤務時間を4時間から7時間に増やし、勤務内容も授業の補助に加え、学級運営の補助や保護者の対応などを行えるようにします。

(3) 6名に増える補助教員を活用し、担任の先生と補助教員と2人1組で授業を行う「チームティーチング」や、1クラスを10～20人に分けて少人数で授業を行う「少人数学習」など、多くの授業できめ細かい指導を実施し、学力向上を目指します。

	双峰小【現在】	唐竹小【現在】	統合小
補助教員人数	補助教員1名	補助教員1名	補助教員6名
「チームティーチング」または「少人数学習」1週間のコマ数	4年1組（算数5コマ） 5年1組（算数5コマ） 6年1組（算数5コマ） 6年2組（算数5コマ） 合計20コマ	3年1組（国・算・総・体10コマ） 5年1組（算数・家庭7コマ） 6年1組（家庭2コマ） 合計19コマ	1年～6年生まで 合計120～180コマ 全学年で実施可能

(4) その他にも、小学校統合により、次のような教育環境の充実を図ります。

- ・両校のIT機器（大型テレビ・タブレット・電子黒板）などを集約し、現在よりも多様な授業に利用します。
- ・定住外国人向け初期日本語教育の専用教室を設置し、現在よりも多くの児童を受け入れます。
- ・児童数が増えるため、多様な部活動の実施が可能になります。そのため、専門の指導員を派遣し、学校の先生の補助を行っていきます。
- ・学校設備の改修を行い、授業に集中できる環境を作ります。

(5) 小学校統合にあたっては、次のようなメリットとデメリットがあります。

	メリット	デメリット
人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの友達や教師にめぐり合い、共に学んだり生活したりする中で、社会性や協調性が育まれる。 ・子どもたちが相互に刺激し合い、いろいろな考え方や見方に触れ合うことができる。 ・クラス替えができることによって、新たな価値観や人間関係ができ、学習意欲や競争心が出る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが多くなることにより、一人ひとりが活躍する機会が少なくなる。 ・学年を超えた交流が少なくなりやすい。 ・統合の当初は、新しい人間関係を構築するために力を使わなければならない。 ・学校ごとでグループ化してしまう可能性がある。
教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・学級数が増えることにより、学年や学校全体に活気が生まれる。 ・状況に応じて、多様な規模の集団を組むことができ、グループ学習や少人数学習などを効果的に行うことができる。 ・運動会、学習発表会、部活動などにおいて、一定規模の集団による多様な活動ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動場や体育館などの一人あたりの面積が狭くなり、放課などにおける使用が制限される。 ・一人ひとりの子どもに目が行き届きにくくなる。 ・通学距離が伸びる子どもは、集合時間が前より早くなり、長い距離を通学しなければならない。
学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・教員数が多いため、多様な教育活動に対応できる。 ・学年別や教科別の教職員同士で、学習指導や生徒指導等についての相談・研究・協力等が行いやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員同士の情報共有に時間がかかる。 ・クラスが増えることにより、授業における運動場、体育館、プールなどの利用機会が制限される場合が生じる。

仮に統合した場合の小学校イメージに関するアンケート

あなたのことについてお聞かせください。

問1 現在、あなたがお住まいの町名・字名をお書きください。

(町・台)	(字名・丁目)
【例】 間米 (町・台) 島川 (字名・丁目) 二村 (町・台) 3 (字名・丁目)	

問2 あなたの家庭の子どもの年齢について、あてはまるもの全てに☑をつけてください。
(平成28年4月2日現在)

<input type="checkbox"/> 0歳	<input type="checkbox"/> 小学校1年生	<input type="checkbox"/> 中学生以上
<input type="checkbox"/> 1歳	<input type="checkbox"/> 小学校2年生	
<input type="checkbox"/> 2歳	<input type="checkbox"/> 小学校3年生	
<input type="checkbox"/> 3歳	<input type="checkbox"/> 小学校4年生	
<input type="checkbox"/> 4歳	<input type="checkbox"/> 小学校5年生	
<input type="checkbox"/> 5歳	<input type="checkbox"/> 小学校6年生	

仮に統合した場合の小学校イメージの魅力について

問3 仮に統合した場合の小学校イメージで魅力に感じたことについて、あてまるものを最大3つまで☑してください。

<input type="checkbox"/> クラス替えができる
<input type="checkbox"/> 多くの友達や先生とめぐり合うことができる
<input type="checkbox"/> 子ども同士相互に刺激しあい、切磋琢磨できる環境になる
<input type="checkbox"/> 人間関係が固定化しない
<input type="checkbox"/> 運動会や学習発表会などに活気が出る
<input type="checkbox"/> ティームティーチングや少人数学習などきめ細かい授業を行うことができる
<input type="checkbox"/> IT機器を活用した授業が充実する
<input type="checkbox"/> 定住外国人向けの初期日本語教育を受けられる児童が増える
<input type="checkbox"/> 多様な部活動ができる
<input type="checkbox"/> 中学校に進学するときに同じ小学校出身者が増える
<input type="checkbox"/> 学校施設が改修される
<input type="checkbox"/> 何も魅力を感じないため、統合する必要はない
<input type="checkbox"/> その他 ()

仮に統合した場合の小学校イメージの課題について

問4 仮に統合した場合の小学校イメージで課題に感じたことについて、あてまるものを最大3つまで してください。

- 児童全体の人数が増えることにより、先生の目が行き届きにくくなる
- 1クラスあたりの人数が増える場合がある
- 子どもと先生の関係が薄くなる
- 学校ごとでグループ化してしまう
- 統合前後で子どもの精神的不安が大きい
- 部活動の人数が増えることによりきめ細かい指導ができない
- 児童クラブ・放課後子ども教室の人数が増えることによりきめ細かい対応ができない
- 学校設備が古い
- 通学距離がのびる
- そもそも統合する必要はない
- その他 ()

教育環境の充実についてお聞きします

問5 小学校の教育環境の充実や統合について、あなたのお考えやご意見をお書きください。

～アンケートは以上です。ご協力いただき、誠にありがとうございました～

「小学校統合検討委員会の議事録」や「統合後の小学校イメージ」の詳細
については、とよあけ創生推進室のホームページで閲覧することができます。

<https://www.city.toyoake.lg.jp/sousei/gakkotogo/gijiroku/gijiroku.htm>

問い合わせ先

豊明市 とよあけ創生推進室

住 所：豊明市新田町子持松1番地1

電 話：0562-92-8362（直通）

メール：sousei@city.toyoake.lg.jp